

ABBYY® Timeline

ビジネスプロセスの自動分析

ABBYYはビジネスプロセスの分析に注力しています。真のオペレーショナルエクセレンス実現には、組織の運営に不可欠なあらゆるビジネスプロセスを把握することが必要であると考えます。特許出願中のABBYY Timeline Analysis分析エンジンは、プロセスや複雑度、サイズを問わず、プロセスインテリジェンスの非常に重要なインサイトを直感的に提供します。

真のプロセスインテリジェンスを実現

あらゆる企業では、数多くのプロセスが実行され、数えきれないソリューションを使用したプロセス管理に苦労していることでしょう。ABBYY Timelineはこうしたツールの良いところを一つにまとめることで、一元化されたプロセスインテリジェンスソリューションを提供し、ビジネスプロセスデータの分析に画期的なアプローチを実現します。

ユーザーはタイムラインを用いて、推測ではなく事実をベースにプロセスがどのように実現されているかを素早く解明し、その真実を把握することができます。タイムラインの特に良い点は、様々なプロファイルにより他のどのようなアプローチよりもいち早く結果を得られることです。その結果、時間的余裕の確保を得られる上、理解を深め対処することができます。

タイムライン分析アプローチ

ABBYY Timelineの真価はタイムライン特有の分析アプローチとプロセスインテリジェンスにあります。この技術を活用して、タイムラインはイベントが実際に実行されたときに得られたデータから元のプロセスインスタンスを段階的に再構築します。

タイムラインで複数のシステムから取得したイベントデータを統合できるので、複数のバックエンドシステムを用いてフェーズの異なるプロセスが実行される場合であってもプロセスの再構築が可能です。そうして、既存のシステムでは成しえなかったビジネスプロセス全体の可視化と分析ができます。

タイムラインのビジネスプロセス再構築が完了すれば、それぞれのプロセスをさらに詳しくみていくことができます。また、プロセスが一貫してうまく回っているか、ケースマネージメントの業務ではよく用いられる完全にアドホックかどうかなど、あらゆるプロセス環境でこうした詳細分析が機能する点が特長です。



データがABBYY Timelineに読み込まれると同時にビジネスプロセスの様々なプロファイルが表示されます。



タイムラインは基となるデータが複数のシステムから得られるものであっても、プロセスインスタンスを自動的に再構築します。



プロセスのスキーマは構造的およびアドホック型(ケースマネージメント)どちらのビジネスプロセス環境であっても自動的に検出されます。

